

和歌山県公共工事入札監視委員会第69回定例会議 議事概要

開催日及び場所	平成30年12月21日（金） 10:00～11:20 和歌山県自治会館 304会議室	
出席委員氏名	山西陽裕（委員長） 遠藤桂介（副委員長） 坂田初美 津村雅枝 堀田祐三子 三岩敬孝	
審議対象期間	平成30年7月1日 ～ 平成30年9月30日	
抽出案件	総件数 2 件	議事
一般競争入札	— 件	○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の認定の経緯等審議 ○意見交換会
条件付き 一般競争入札	2 件	
通常指名競争入札	— 件	
随意契約	— 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による建議の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○由良港港湾施設整備（外）合併工事</p> <p>1. A委員 予定価格が4億2800万円で、落札が3億5400万円となり7000万円の差があるが、予定価格は妥当だったのか。</p> <p>2. B委員 入札参加要件に作業船の所有権を有することとしているが、利用権だけでなく所有権を求めている理由は何か。</p> <p>3. B委員 共同企業体では、県外事業者が作業船を所有していればよく、必ずしも2で回答した理由のみではないのではないか。</p> <p>4. C委員 津波対策で防波堤を設置する工事だが、設計から工事完成までの間に標準示方書が変更になった場合にどのように対応しているか。</p>	<p>(発注機関：日高振興局建設部)</p> <p>1. 予定価格は積算基準に基づいて積算している。</p> <p>2. 理由の一つとして、災害時などに作業船を所有した事業者が県内に必要ということから、その育成のために入札での優位性を持たせていることがあげられる。</p> <p>3. 理由について、再度確認してまいりたい。</p> <p>4. 事業工程上、対応が可能なものは変更し、間に合わないものは以前の仕様で工事を行っている。どの基準で設計したかは記録している。</p>
<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○国道168号交付金道路保全工事</p> <p>1. D委員 高エネルギー吸収型落石防止柵とは、単なる落石防護柵とどのように異なるのか。</p> <p>2. B委員 落石防護柵の種類は、その地域や土地の調査をして選択するのか。</p>	<p>(発注機関：東牟婁振興局新宮建設部)</p> <p>1. 工法の一つで、網を伸ばした状態ではなく、たるませた状態で張り、落石のエネルギーを吸収するもの。</p> <p>2. 事前にその場所を点検し、いろいろ検討しながら工法を選ぶ。</p>

<p>3. C委員 石が防護柵まで落ちてきた場合には、その石を撤去するのか。</p> <p>4. C委員 初期投資は少なく済むが、継続的に費用が発生する工法か。</p> <p>5. E委員 災害が発生すれば緊急で随意契約を行い対処することになるが、その後の工事も同一の事業者に行わせるのか。</p> <p>6. F委員 入札に参加するために必要な営業所要件を東牟婁振興局新宮建設部管内に限っているのはなぜか。</p>	<p>3. 月に1回程度パトロールを実施し、状況を確認しながら、危険なものは撤去を行う。</p> <p>4. 山間部が多い地域では、対象エリアが多く、初期投資を抑えて多くのエリアをカバーする必要がある。</p> <p>5. 同一の事業者ではなく、あらためて災害協定を締結している地元の建設業組合から推薦をしてもらい、見積りを取って契約する。</p> <p>6. 今回の施工条件を満たす実績がある事業者が32者いたことから、十分競争性が確保されると考えられたため。</p>
<p>【意見交換会】</p> <p>下記について意見交換を行った。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 公共工事動向について</p> <p>2. 建設業における社会保険等への加入促進について</p> <p>3. 談合情報等の対応について</p>	